米奥小だより

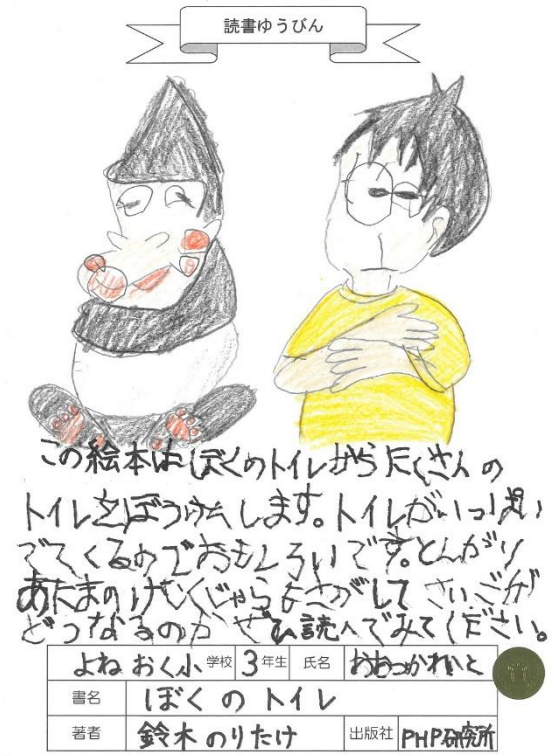
令和７年３月６日（木）
No.４７
米奥小学校　校長　北添 忠

○町立図書館読書郵便作品展

令和６年度四万十町立図書館読書週間行事「読書感想画・読書郵便作品展」に応募し、展示されていた作品が学校に戻ってきました。その中の５名の作品が入選となり、表彰状も届きました。次回の集会で表彰したいと思っています。表彰された５名も含め、全員の作品が個性豊かで、自分が感じた内容を絵と言葉で表現していました。

入賞した作品は次の通りです。

○３年　武田充生「うごきません」
○３年　大塚零人「ぼくのトイレ」
○４年　吉本陽菜「キャラメルの木のひみつ」
○５年　宮﨑美羽「ぼくは、ういている」
○６年　安藤　恵「10 代から身に付けたい『伝える力』」



○米奥小学校コミュニティ・スクール活動　文部科学大臣表彰

今回、米奥小学校学校運営協議会と学校応援隊等の長年の活動が評価され、文部科学大臣表彰を受賞しました。その表彰式と記念講演が２月28日に東京の文部科学省の講堂で行われ、学校運営協議会会長の村上さんらが参加しました。

この賞は「地域とともにある学校づくり、学校を核とした地域づくりを進め、未来を担う子どもたちの成長を地域全体で支える社会の実現を目指すことを目的に、学校と地域が連携・協働し、コミュニティ・スクールと地域学校協働活動を一体的に実施する取り組み」に対して贈られたもので、平成21年に米奥小学校学校運営協議会が設立され、米奥地区の文化や自然を大切にしながら児童と地域の方々がいっしょになって活動してきた結果です。

米奥地区のみなさんの地域に対する思い、米奥小学校に対する思いが積極的な活動を生み、コロナ禍でも活動を継続し、今につながっていると思います。今後も活動は継続します。地域、保護者、教職員が一体となって地域の子どもたちを育てていきましょう。